

2020/2021 全日本選抜スピードスケート競技会 長野大会

要 項

2020年11月3日
2020年11月19日修正

1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟(以下「本連盟」という。)

2. 後援(予定)

長野県 長野県教育委員会 公益財団法人長野県スポーツ協会 長野市 長野市教育委員会
公益財団法人長野市スポーツ協会 信濃毎日新聞社 NBS 長野放送 株式会社エムウェーブ

3. 主管

長野県スケート連盟

4. 会場

長野市オリンピック記念アリーナ(エムウェーブ)

長野県長野市北長池195 TEL:026-222-3300

※競技会場には、本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。

5. 競技距離

女子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マススタートレース(16周)

男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m 10000m マススタートレース(16周)

6. 競技日程

2021年2月10日(水)

受付 8:00-12:00

公式練習 9:00-9:50、10:05-10:55、11:10-12:00

(各セッションとも開始20分後から20分間スタートトライアルを実施する)

代表者会議 13:00(エムウェーブ)

2021年2月11日(木)

公式練習 6:45-7:30

ウォームアップ 7:45-8:30(当日出場者のみ)

競技開始 9:00 ①女子 500m ②男子 500m ③女子 3000m ④男子 5000m

⑤女子マススタートレース準決勝 ⑥男子マススタートレース準決勝

2021年2月12日(金)

公式練習 6:45-7:30

ウォームアップ 7:45-8:30(当日出場者のみ)

競技開始 9:00 ①男子 3000m ②女子 1000m ③男子 1000m

④女子マススタートレース決勝 ⑤男子マススタートレース決勝

2021年2月13日(土)

公式練習 7:45-8:30

ウォームアップ 7:45-8:30(当日出場者のみ)

競技開始 9:00 ①女子 1500m ②男子 1500m ③女子 5000m ④男子 10000m

※ 競技日程は、参加者数により変更する場合がある。

7. 競技方法

(1) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟(以下「ISU」という。)スピードスケート競技規則(以下「規則」)

という。)、本連盟規則による距離別競技会とする。

(2) トラックは標準 400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マススタートレース(以下「MSR」という。)については、アップレーンを含む全面を使用する。

(3) 1000m以上の距離についてはカルテットスタート競技方法を採用することができる。

(4) MSRを除く各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第 239 条2項に従う。

ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成

① 距離ごとに参加申込みが受け付けられた競技者(以下「参加競技者」という。)について、本連盟が公表した最新の当該距離の全日本選抜ランキングポイント合計(以下「ポイント」という。)の順位によって順位付ける。

② ポイントのない参加競技者については、前記ア)①までのランキングの最下位に続けて、当該距離の 2021年2月7日時点の記録(高地リンクで記録されたものを除く。以下「本年度記録」という。)により順位付ける。

③ 本年度記録のない者は、前記ア)②までのランキングの最下位に続けて抽選により順位付ける。

イ) 組合せ及び滑走順

① MSRを除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、前記ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から2名ずつ組み合わせる。

② スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。

③ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。

ウ) 前記イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第 245条1項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。

エ) 最終順位は、ISU規則第 265 条、第 268 条及び第 275 条に従って決定する。

(5) MSRの競技方法は、以下のとおりとする。

ア) MSRの競技方法は、ISU規則第 253 条4項 b)に従う。同条項に定める安全対策として、ヘルメット(ショートトラック競技の基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカットを義務づけるものとする。レーシングスーツは、カットレジスタンスであることが望ましい(詳細は、ISUコミュニケーションNo.2195を参照)。

イ) 参加競技者が 24 名を超えた場合は準決勝を行い、決勝は16名とする。

① 参加競技者を1500mの本年度記録に基づき順位付ける。1500mの本年度記録のない者は抽選により順位付け、前段の最下位の者に続く。

② 準決勝は、前記イ)①により順位付けられた参加競技者を必要な組に配置する。各組への配置は、ISU規則第 296 条4項を準用する。

③ 決勝へは、準決勝各組の上位から同数が進出する。

ウ) スタートは、参加競技者が6列に整列して行う。準決勝、決勝とも参加競技者の並び順は抽選による。

エ) 3回の中間スプリントと最終スプリントを設定し、最終順位は、第1に、中間スプリントと最終のスプリントの合計により決定し、第2に第1に続いて、フィニッシュ順位により決定する。その他順位の決定については、ISU規則第 265 条6項に従う。

(6) 各距離の最終順位に別表に定める全日本選抜ポイントを与える。

ア) MSR 準決勝の各組は、それぞれ 17 位以降のポイントとする。

イ) 同順位はそれぞれに当該順位のポイントを付与する。

ウ) ポイント合計が同じ場合は、次の優先順により上位者を決定する。

① より高いポイントをもつ者(最高ポイントが同じ場合は2番目に高いポイント、それが同じ場合は3番目に高いポイント、以下順次同様とする)

② 直近の全日本選抜スピードスケート競技会のポイントが高い者

③ 前記②で上位者が決定しない場合は同順位とする。

8. 表彰

(1) 各距離とも全日本選抜ランキングポイント合計の1位の者にカップ、メダル及び賞状を、2位及び3位の者にメダル及び賞状を、4位から6位までの者に賞状を授与する。

(2) 各距離(MSRは決勝)とも1位から3位までの者にメダル及び賞状を授与する。

9. 参加資格

(1) 本年度の本連盟登録競技者であって、次の各号いずれかに該当する者を参加有資格者とする。

ア) 前年度 ISU 主催競技会に日本代表となった者(当該競技会に出場した距離に限る。)

イ) 本連盟が公表した前年度記録(高地リンクを除く。)が次の表に掲げる順位以内の成績である者(男子 3000mはジュニア対象年齢の順位)

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m
女子	50 位	50 位	50 位	50 位	20 位	—
男子	50 位	50 位	50 位	20 位	50 位	20 位

ウ) 前年度ジャパンカップポイント合計が、いずれかの距離において、次の表に掲げる順位以内の成績である者(男子 3000mはジュニア対象年齢の順位)

	500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
女子	30 位	30 位	30 位	30 位	16 位	—	30 位
男子	30 位	30 位	30 位	16 位	30 位	16 位	30 位

エ) 前年度公式競技会における成績が、次の表に掲げる順位以内の成績である者

対象競技会		500m	1000m	1500m	3000m	5000m	10000m	MSR
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会**	女子	8位	8位	8位	6位	—	—	6位
	男子	8位	8位	8位	—	6位	—	6位
日本学生氷上競技選手権大会**	女子	6位	6位	6位	6位	—	—	—
	男子	6位	6位	6位	—	6位	6位	—
全国高等学校スケート選手権大会**	女子	6位	6位	6位	6位	—	—	—
	男子	6位	6位	6位	—	6位	6位	—
全国高等学校選抜スピードスケート競技会	女子	6位	6位	6位	6位	—	—	6位
	男子	6位	6位	6位	6位	6位	—	6位
全国中学校スケート大会	女子	3位*	3位	3位	3位	—	—	—
	男子	3位*	3位	3位	3位	3位	—	—

* 合計タイムの順位

**当該選手権大会は今年度も対象とする。

(2) 追加有資格者

ア) 本連盟スピードスケート競技規則運用マニュアル2-1(2)に該当する者

イ) 10.(1)に該当する者が、本競技会参加申込締切までに終了した本年度公式競技会において、既に参加資格を有する距離以外に 10.(1)イ)に定める距離の順位の者の前年度記録以内の記録を収めた場合はその距離の参加資格を得る。

ウ) 10.(1)に該当する者以外が、本競技会参加申込までに終了した本年度公式競技会において、10.(1)イ)に定める距離の順位の者の前年度記録以内の記録を収めた場合はその距離の参加資格を得る。

エ) 当該競技会を主管する連盟に所属する当該年度最初に公表した参加有資格者が男女それぞれ 10 名に満たない場合は、主管連盟所属のバッジテスト A 級以上を有する高校生以下の者を開催地枠としてそれぞれ 10 名を満たすまで参加有資格者に加えることができる。この場合、これらの者は 1 名 2 距離以内の選択とする。

オ) 追加有資格者に該当する者は、本連盟スピード部委員会に追加有資格者申請書を提出し、参加申込締切までに承認を受けた者とする。

(3) 本連盟スピード部委員会が特に参加を認めた者は、その距離について参加資格を取得する。

(4) 外国選手の特別参加は、本連盟事業による国際交流、海外チーム・選手招待等の場合に限られ、本連盟スピード部委員会において審議の上、理事会の承認を受けて決定する。ただし、外国選手に賞は与えないものとする。

10. 参加距離

(1) 参加有資格者及び追加有資格者は、参加資格を取得する条件を充足した距離(以下「資格取得距離」という。)について参加することができる。ただし、男子 3000mについてはジュニア対象年齢(2001 年 7 月 1 日以降に生まれた者)の者のみが参加できるものとする。

- ア) 男子 3000mが資格取得距離であるシニア対象年齢の者は、これを男子 1500m又は男子 5000mに振り替えて参加することができる。この場合、男子 1500m又は男子 5000mがすでに資格取得距離であったとしても、他の距離への振り替えは認めないものとし、参加取得距離数は振り替え後のものとする。
- イ) 資格取得距離が4距離以上の者は、資格取得距離にのみ参加できるものとする(男子 3000mに資格取得距離を有するシニア対象年齢の者は、本項目の適用上男子 1500m又は男子 5000mの参加取得距離を有する者として扱う。)
- (2) 資格取得距離の特例
- ア) 資格取得距離が1距離である者は、当該距離に加え、他の任意の1距離を選択して参加することができるものとする(唯一の資格取得距離が男子 3000mのシニア対象年齢の者は、男子 1500m又は男子 5000mに振り替えた上で、他のもう1距離に参加できる。)
- イ) 資格取得距離が2距離又は3距離である者は、参加可能な2距離又は3距離のうち1距離を他の任意の距離に変更することができるものとする(資格取得距離のうち1距離が男子 3000mのシニア対象年齢の者は、これを11.(1)ア)により振り替えた上で、さらに本項目により振り替えることができる。)
- (3) MSRの競技参加者は、最大24名とする。ただし、参加競技者が24名を超えた場合は準決勝を行い、その各組の上位から同数を選出して16名が決勝に進出する。

11. 参加申込

- (1) 参加資格を有する者には JSF マイページの競技会参加申込サイト(以下「サイト」という。)で申し込むこと。
(サイト URL <https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)
- ア) 参加申込に際しては参加申込者のメールアドレスを入力し参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理の通知(以下「受理通知」という。)を受け取る。この受理通知は参加申込にかかる疑義が生じた際確認するため、代表者会議が終了するまで保存しておくこと。
- イ) 参加申込にかかる疑義で受理通知が確認できない場合は参加申込締切時の参加申込状況により以後の処理を行うものとする。
- ウ) 参加申込締切前に参加申込の内容修正又は取り消しを行う場合はサイトで行うこと。この場合、前記ア)同様に受理通知を受け取る。 (サイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)
- エ) 参加申込締切後に参加を取り消す者は大会事務局へ必ず棄権届出書を提出すること。
- オ) 大会事務局
〒381-0025 長野県長野市北長池 195 エムウェーブ内
全日本選抜スピードスケート競技会 長野大会事務局
TEL:026-267-0288 FAX:026-267-0289 E-mail:info@skating-nsa.jp
- 本連盟事務局
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 Japan Sport Olympic Square
公益財団法人 日本スケート連盟
TEL:03-5843-0415 FAX:03-5843-0416 E-mail:jsf@skatingjapan.or.jp
- カ) 参加申込状況は参加申込締切後、本連盟ホームページに公開する。
- (2) 参加申込料は参加申込者名の銀行振込みで支払う(銀行振込に限る)ものとし振込手数料は申込者の負担とする。
- ア) 参加申込料 1名 1距離につき 5,000 円
- イ) 振込先
金融機関名: 八十二銀行 南長池支店
口座番号: 普通 212997
名義: スケート大会長野事務局 事務局代表 渡辺 勇 (ワタナベ イサム)
- ウ) 参加申込締切後はいかなる場合も支払われた参加申込料は返還しない。ただし、本連盟が特に認めた者はこの限りではない。
- エ) (2)ウ)ただし書に該当する者の支払われた参加申込料は銀行振込により返還するものとする。この場合、振込手数料は主催者の負担とする。
- オ) 複数の申込者の参加料を一括して支払う場合は、参加料振込明細書を大会事務局へ送付すること。
- (3) 参加申込締切 2021年1月25日(月) 正午 ※受付開始:2020年12月26日(土)
- (4) 中学生以下の者にはサイトから出力した参加申込書(副)の親権者署名欄に親権者が自署した参加承諾書を最初の代表者会議までに大会事務局へ提出すること。

- (5) 参加申込(12.(1)に定める参加申込及び12.(2)に定める参加申込料の支払いのいずれか一方又は両方)が遅延した者又は12.(1)の参加申込書が不完全な者は本競技会への参加を認めない。
- (6) 参加申込にかかる個人情報、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

12. 宿泊

各自で手配すること。

13. その他

- (1) 本連盟基準の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。
- ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
- ① 体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- イ) マスクを持参すること。
- ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。
- オ) 競技中に大きな声で会話、応援をしないこと。
- カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- キ) 本競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- ク) 本連盟は本競技会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任を負わない。
- (2) 本競技会中(7.の全日程中)の事故等については応急処置のみとし責任は負わない。
- (3) 本競技会への参加に際してはスポーツ傷害保険等に必ず加入していること。
- (4) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
- (5) 公式競技会への参加に際しては、バッジテスト級認定証を携行すること。
- (6) 本競技会は、第19回エムウエーブスピードスケート競技会と同日開催とする。

全日本選抜ランキングポイント配点表

500m / 1000m / 1500m 女子 3000m / 男子 5000m				女子 5000m / 男子 3000m 男子 10000m / マススタートレース			
Rnk	Pnts	Rnk	Pnts	Rnk	Pnts	Rnk	Pnts
1	50	21	20	1	30	11	10
2	46	22	19	2	27	12	9
3	43	23	18	3	24	13	8
4	40	24	17	4	21	14	7
5	38	25	16	5	19	15	6
6	36	26	15	6	17	16	5
7	34	27	14	7	15	17	4
8	33	28	13	8	13	18	3
9	32	29	12	9	12	19	2
10	31	30	11	10	11	20	1
11	30	31	10	※ マススタートレースの準決勝敗退者には、各組ともその上位に17位以降の得点を付与する。また、決勝進出者であっても決勝で失格又は棄権した者には16位の得点を付与する。			
12	29	32	9				
13	28	33	8				
14	27	34	7				
15	26	35	6				
16	25	36	5				
17	24	37	4				
18	23	38	3				
19	22	39	2				
20	21	40	1				